

平成29年度 特別養護老人ホーム 宇布見の里 事業計画書

1. 基本方針

施設理念『きずな』に基づき、サービスを提供するよう努めます。

- ・まごころをこめて接し、なごやかな環境を提供します。
- ・ご利用者様の尊厳を守り人生が輝くよう支援します。
- ・ご利用者様を深く知り多職種チームによってケアを提供します。
- ・毎日が笑顔にあふれ、日々の生活が明るくなるよう努めます。
- ・常に向上心を持ち、質の高い介護によりご利用者様が健やかな生活を送れるよう努めます。
- ・地域の方に開かれた施設を目指し、愛される施設になるよう努めます。

2. 事業内容

(1) 入所基準

原則として要介護度3以上の方に限定されます。但し、要介護度1又は2の方でもやむを得ない事情で、居宅において日常生活を営むことが困難である場合には、特例にて（特例入所の要件に該当する場合）入所が認められます。

(2) 入居者様への介護サービスの提供

認知症や身体の障害によって、常に介護が必要となり在宅での生活が困難な方に対して、日常的な健康管理、食事や排泄、入浴を中心とした日常生活の支援と機能訓練を実施します。

3. 各種委員会取り組み

以下の委員会について、職員の体制、入所状況を踏まえ、順に立ち上げることとする。尚、介護事故防止委員会（リスク）、感染委員会は直ちに立ち上げる。

(1) 教育委員会

【基本方針】

介護職員のスキルアップと職場への定着を図る

【活動計画】

- ・新任職員初期研修の見直しと実施
- ・施設内・外研修の計画と実施
- ・接遇・マナーへの取り組み
- ・施設内研修の開催
- ・外部施設による研修

(2) 介護事故防止対策（リスクマネジメント）委員会

【基本方針】

介護事故の軽減、防止に努めるよう、事故報告書の内容を周知し、職員の意識を高める。

介護リスクにおける発生予防策と再発予防策が、組織の中で継続的に行われる仕組みを構築されていく

【活動計画】

- ・ 事故防止に必要な知識・技術の向上を図る
- ・ 事故状況の統計を取り対策を講じる
- ・ 車椅子整備
- ・ 事故報告書の様式の見直し
- ・ 介護事故、褥瘡予防、人権擁護、身体拘束廃止、苦情解決、個人情報保護に組織として取り組む体制の強化
- ・ 施設内研修の開催

(3) 感染症対策委員会

【基本方針】

感染症対策への周知・徹底

【活動計画】

- ・ 毎月の会議開催
- ・ 感染症発生時に緊急感染会議を開き被害を最小限に抑える
- ・ 施設内研修の開催

(4) 安全衛生委員会

【基本方針】

職員の働きやすい環境作りへの取り組み

【活動計画】

- ・ ストレスチェック制度への取り組み
- ・ 腰痛予防への取り組み
- ・ 昼間、夜間それぞれを想定した防災訓練の実施
- ・ 健康診断の実施

(5) 看取りケア委員会（体制が整い次第）

【基本方針】

多職種連携によるご利用者様 1 人 1 人にあった看取りケアへの取り組み

【活動計画】

- ・ 静養室及び周辺環境作り
- ・ ショートステイ及び看取りケア目的の方の受入れの体制整備
- ・ 各部署の役割分担見直し
- ・ 施設内研修の開催
- ・ 振り返りの実施
- ・ 看取りに関するアンケートの実施

(6) 一般介護技術委員会（食事・入浴・排泄）

【基本方針】

- ・ ご利用者様へのより良いケアを提供できる方法を考案し実施していく。
- ・ 連携のとれた介護を行うために、すべきことを常に考え実施していく。

【活動計画】

- ・ 情報の共有
- ・ 備品管理
- ・ 介護技術の向上
- ・ 入浴の日程調整
- ・ 施設内研修の開催
- ・ 外部講師（おむつメーカー）による講習

4. 行事について

【基本方針】

ご利用者様に楽しいひと時を過ごしてもらおう為の年間行事・外出援助の起案

【活動計画】

平成 29 年度 年間行事計画

4 月	花見 誕生会	10 月	みかん狩り 外出援助 誕生会
5 月	端午の節句 遠足 誕生会	11 月	雄踏幼稚園来所 誕生会

6月	外出援助 誕生会	12月	クリスマス会 餅つき 誕生会
7月	七夕 外出援助 誕生会	1月	初詣 新年会 誕生会
8月	夏祭り 外出援助 誕生会	2月	節分豆まき 誕生会
9月	敬老会 雄踏幼稚園運動会参加 外出援助 誕生会	3月	ひなまつり いちご狩り 誕生会

※その他、ボランティアの方の随時受入れ。体操・生け花・カラオケ・習字
創作クラブ(各月開催)

5. その他

(1) 稼働率

稼働目標：半年後に 49 名（稼働率 70%）1 年後に 67 名（稼働率）96%を目指す。

- ・入所申込者（待機者）の状況把握に努め、入所までの課程の円滑化とシステムの構築を図る。

(2) 多職種連携

- ・多職種協働の下での、ケアプランの作成
- ・ケアプランの周知と遵守
- ・多職種による委員会の構成
- ・各種委員会による連携の強化
- ・第二砂丘寮との事例検討会の開催・情報共有

(3) 防災対策

- ・避難経路の確認
- ・消火器・消火栓等、設備の場所・使い方の確認
- ・大規模災害に備えた、津波、火災を想定した避難訓練の実施
- ・災害が発生した場合に、各自が役割を理解し適切な行動が取れるよう周知徹底を図る。
- ・福祉避難所としての機能向上のため、食料、日用品等を含めた備品の充実を図る。
- ・地域の方々や防災機関との協力体制を図っていくよう努める。
- ・防災機器の点検

(4) 地域交流

- ・地域イベント、ボランティア活動への参加
- ・ボランティアの積極的な受入れと呼びかけ
- ・地域交流室の活用、地域の方の受け入れ
- ・喫茶店の活用、地域の方の受け入れ
- ・行政、高齢者相談センター、医療機関、介護保険事業所との連携を図り、情報収集を行う。
- ・地域包括ケアへの積極的な参入